

環境リサイクル肉牛協議会第 18 回総会
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 9 回通常総会
議 案 書

2017 年 6 月 3 日（土） 午前 10 時 00 分から ホテルグランテラス帯広

会議次第

1. 総会成立の要件 出席者数 委任状数 有効成立率
2. 開会挨拶
3. 議事録署名人 1 名の選出、書記 1 名選出
4. 議事
 - 1) 第 1 号議案 2016 年度事業報告及び収支決算に関する件
 - 2) 第 2 号議案 2017 年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 3) 第 3 号議案 そのほか
 - ①役員改選 2 年任期 2017～2018 年度
5. 閉会

第 1 号議案

I. 2016 年度事業報告

1. 2016 年度会員募集（2017 年 3 月末）

個人会員	16 名	(±0)	
団体会員	12 団体	(-1)	合計 28(-1)
内訳)	生産者・生産者団体	9	
	食肉流通業者	3(-1)	
	消費者団体	1	
	学研・指導機関	9	
	飼料業者	6	

2. 総会・理事会等の開催

1) 第 17 回総会

- 2016 年 6 月 4 日(土)ホテルグランテラス帯広 出席 16 名委任状 4 名 合計 20 名
- ・ 2015 年度事業報告・決算報告
 - ・ 2016 年度事業計画・予算 以上承認
 - ・ 役員改選は 2 年任期なので今回は無

2) 理事会

- 第 1 回 2016 年 6 月 4 日（金）グランテラス帯広 総会前打合せ
- 第 2 回 2016 年 11 月 10 日(木) とかちプラザ シンポジウム前日打合せ
- 第 3 回 2017 年 1 月 29 日（金）新得町 北海道畜産試験場研修施設：8 名
- ①シンポジウム総括 ②新年度事業

- 第4回 2017年4月7日 総会準備・2017年シンポジウム企画打合せ
 3) カルビー ポテトピール検討会；開催できず

3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催

1) 学術情報の収集

関連加入団体 7ヶ所 年会費 26,500円

肉用牛研究会 (事務局/京都大学 年会費/3,000 個人窓口/左)

日本畜産学会 (東京 公益社団法人 4,000 左)

日本産肉研究会 (東北大学大学院農学研究科 5,000 団体)

畜産システム研究会(京都大学畜産資源学 3,000 花房)

北海道畜産草地学会(道総研畜産試験場) 2,500 左)

北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会 4,000 左)

北海道有機認証協会 5,000 花房)

2) 肉牛飼養技術研修会の開催

第1回 6月4日(土) 10:00~場所：ホテルグランテラス帯広 参加 22名

・放牧およびとうもろこしサイレージ給与による牛肉生産

道総研 畜産試験場 遠藤研究員

第2回 1月27日(金) 14:00~場所：新得町北海道畜産試験場内研修施設 10名

(1)道産牛肉のおいしさについて 道総研畜産試験場 大井研究員

(2)黒毛和種の育成期における2番牧草サイレージ主体 TMR 給与技術 同 遠藤研究員

4. 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016の開催

(1) シンポジウムテーマ：「自給飼料100%活用肉牛生産への挑戦」

日時：2016年11月11日(金) 13:00-17:00

会場：とちぎプラザ(帯広市)2階 視聴覚室

同時開催：地方特定品種全国推進会議 事務局(一社)全国肉用牛振興基金協会

内容：

1. 基調講演 「自給飼料100%で和牛生産の意義」九州大学農学後藤貴文准教授

2. 話題提供

● 「北里八雲牛の町内生産」北里八雲牛生産組合 佐藤正之組合長

● 「野生牛”にかける～様似町からの挑戦～」駒谷牧場西川奈緒子代表

● 「グラスサイレージ給与による和種育成肥育」道総研肉牛G遠藤哲代研究員

● 「ドライエージング赤身肉のおいしく食べる方法」(株)さの萬 佐野佳治社長

3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表

4. ホテルグランテラス帯広 食味試験 帯広畜産大学 口田研究室主催

意見交換会 eびーふ試食会 参加者 70名

5. 現地検討会：11月12日(土)午前中 足寄町北十勝牧場

述べ参加者数：シンポジウム 約140名 現地検討会 30名

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 月刊情報誌「e-びーふ NEWS 北の牧場から」 毎月発行する。
- 2) ホームページ：インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

6. 「e-びーふ」認証事業 定款5条1-①

- 1) 新たなe-びーふ認証農家の発掘できず。
- 2) 「e-びーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：

- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
北海道アンガス牛振興協議会との連動

8. 2016年度収支決算報告

5p 決算書・監査報告参照

第2号議案

Ⅱ. 2017年度事業計画

1. 会員募集

目標会員数 35 名以上を目指す。

2. 総会・理事会の開催

- 1) 2017年度第18回総会(NPO法人第9回通常総会)
- 2) 理事会、事務局会議は必要に応じ開催する。

3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款5条1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査および参加。
新規加入 北海道有機認証協会、北海道オーガニックビーフ振興協議会
- 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。
- 3) JAS 有機の格付委託業務（北里 FSC 八雲牧場からの受託、有機牛の肉質調査）

4. 第14回資源循環型肉牛生産シンポジウム2017の企画・開催

定款5条1-④ 別紙開催企画書添付

- 1) 2017年11月9日(木) 開催場所；とかちプラザ
- 2) テーマ「マイナー（or 希少）品種の赤身生産と流通」

- 3) 基調講演/ 松崎日本産肉研究会会長(弘前大学教授)
- 4) 話題提供/道総研畜産試験場、北十勝ファーム(N) 関谷牧場(J)ほか

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 「e-びーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の編集・発信。年12回
- 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

6. 「e-びーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①

- 1) 新たなe-びーふ認証農家の発掘。
- 2) 認証適格農場の実態調査。
- 3) 「e-びーふ」の商標の活用

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：
 - 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
→北海道アンガス牛振興協議会・北海道オーガニックビーフ振興協議会(HOBA)と連動
各牧場定期調査・分析・検討会の開催

8. 2017年度予算案

(6p 予算書 参照)

第3号議案 その他

1. 協議会の運営体制

- 1) 総務担当 協議会の運営、会計事務 (事務局)
NPO 法人会計事務 (外部委託：クラウド会計 freee、竹川会計事務所)
- 2) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 (左理事)
- 3) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
- 4) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)
- 5) e-びーふ news 編集・ホームページ担当 (事務局)
- 6) 「e-びーふ」認定委員会 (畜試)
- 7) 補助事業申請・運営 (事務局)
- 8) 飼料事業の推進 (畜試・事務局)
- 9) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催(畜試・事務局)

事務局体制の充実：

2. 肉牛事業について

- 1) e-びーふ経産牛の肥育事業；調査実施中
- 2) オーガニックビーフ生産事業

以上。

2016年度決算

決算書

環境リサイクル肉牛協議会

収入の部

項目	予 算	決 算	備 考
1) 会費・入会金			
個人	102,000	88,600	今年度分13人 前年度分2人
団体	240,000	180,000	9団体
2) 寄付金			
入会金			
シンポジウム協力金	120,000	88,000	北ア協、北海道短角牛振興協議会
事業助成金		30,250	全国肉用牛振興基金協会、十勝農協連
3) 助成金			
4) 事業収入			
普及活動事業参加費	150,000	275,500	e-びーふ試食・意見交換会参加費
5) その他の収入			
受取利息	15,000	30,000	有機JAS格付業務委託費
立替金			
受取利息	80	4	北洋銀行
立替金			
立替金		12,750	(一社)全国肉用牛振興基金協会
6) 前期繰り越し金	285,921	285,921	
合 計	913,001	990,425	

支出の部

科目	予 算	決 算	備 考	
事業費				
定款5条1①	e-びーふ認証事業費	100,000	0	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款5条1②	調査研究事業費	120,000	111,364	学会・研究会情報収集車両費
定款5条1③	肥育モデル作成事業	0	0	
定款5条1④	講演会開催事業費	150,000	426,477	シンポジウム、飼養技術研修会
定款5条1⑤	機関誌発行事業費	105,000	52,582	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費				
旅費・交通費	0	0	理事会旅費・事務局交通費	
通信費	6,500	6,120	NTT電話代、郵送料	
会議費	55,000	50,479	理事会・総会経費	
備品・消耗品費	10,000	0	印刷用紙、インクカートリッジ	
賃借料	0	12,750	とちかプラザ全国肉用牛振興基金協会立替	
雑費	35,000	32,618	会社処理料	
合 計	581,500	692,388		
繰越金				
繰越金	285,921	298,027		
預金	北洋銀	453,817	470,397	
現金		280	4,308	
前払い費用		6,824	0	
(小計)		480,921	474,703	
未収入金		0	0	
未払金		0	0	
合計		480,921	474,703	
未払金		0		
預り金		155,000	155,000	左理事
繰越金		285,921	298,027	
合計		440,921	453,027	

監査報告

2016年度収支決算について監査の結果、各項目毎に正確・適正に処理されている事を認めます。

2017年6月3日

監事 内藤 順介

監事 奈良岡 武任

予算書 2017 年度

収入の部

項 目		前年度決 算	予 算	備 考
1)会費・入会金	個人	88,000	108,000	今年度分 15 人 過年度分 3 人
	団体	180,000	280,000	今年度分 12 団体 過年度分 2 団体
	入会金	0		
2)寄付金	シンポジウム協力金	88,000	88,000	北ア協、北海道短角牛振興協議会
	事業協力金	43,000	30,000	十勝農協連
3)助成金		0		
4)事業収入	普及活動事業参加費	275,500	250,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
5) その他の収入		30,000	75,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	4	4	北洋銀行
6) 前期繰越金		305,921	319,703	
合 計		1,010,425	1,150,707	

支出の部

科 目		前年度決 算	予 算	備 考
事業費		0		
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	0	50,000	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	111,364	100,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	100,000	アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	417,977	400,000	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	52,592	100,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	50,000	理事旅費・事務局交通費
	通信費	6,120	6,000	NTT 電話代、郵送料
	会議費	50,479	50,000	総会経費
	備品・消耗品費	6,824	5,000	
	賃借料	12,750	0	
	手数料	32,616	60,000	会計処理料(クラウド会計 freee、竹川会計)
	予備費	0	229,707	
合 計		690,722	1,150,707	